

【奨励賞】

「北方領土について思うこと」

鹿部町立鹿部中学校

1年 荒関 ことね

北方領土と、漁業を営んでいる人口が多く暮らす私の町では耳にすることがありますが、実際に「北方領土って？」と聞かれても即答することは難しいです。なぜなら私は、社会の授業以外で北方領土に関して学ぶこと、興味を持つことがなかったからです。

でも、漁業を営んでいる叔父や祖母から話を聞くと「北方領土は返してもらわない」という気持ちが芽生えました。この機会に私なりに色々調べてみました。

まず、北方領土はなぜロシアのものなのか？日本が戦争で負けた結果なのだとわかっていますが、旧ソ連が条約違反をして占領し、全ての日本人を強制的に退去させたとありました。現在もロシアが占領したままとなっていて戦後75年たった今でも条約が締結されずに返還してもらえない状況です。テレビなどで北方領土の映像が流されているのを目にするとそこは「日本」とは言い難い、見るからに「外国」の様子に映ります。75年も経ち、ロシアの人が住み続けているとそこはロシアとしか見えない状態です。そして、北方領土は「日本の領土」だといくら私たち日本人が返還要求してもそう簡単には返還してもらえないのが現状だと私たち子供の目には見えてしまいます。それに北方領土には漁業者が欲しい「資源」が豊富にあり、ロシアの人にとっても大切な資源であるのは変わらないと思います。だから返還出来ないのではなく、したくないのでしょう。

日本としては是が非でも返還して欲しいから返還時期に関して柔軟に対応する、現在領土に住んでいるロシアの人の人権や利益などを十分に尊重するなどの交渉を伝えても、そもそも「ロシア人」と「日本人」では考え方や物事のとらえ方などさまざまな違いがあり、日本の領土で今も占領されているんだと、たとえ世界中の国が認めてくれても、肝心のロシアが納得するはずがないと私は思います。ロシアの人にとって北方領土はあくまで「自国」だからです。自国の「資源」であり「領土」をやすやすと返還してくれるような民族ではないと、歴史をかえりみても私は困難なことだと思います。

私たち日本人がこのまま見ているだけで良いのか？と考えるとそうではないと思います。北方領土はロシアにとって大切なように日本人にとっても大切な領土であり、資源なのです。そして強制的に退去させられた日本人にとっては大切な故郷なのです。最近では元島民の方たちがビザなし訪問をすることも断られています。コロナの影響ではありますが、このまま永続的に訪問自体が出来なくなる可能性もあるのではと心配です。

時代と共に北方領土問題が風化しないよう私たち子供も、特に私たち道民は、領土と資源がどんなに大切かを理解して一日も早く北方領土の歯舞・択捉・色丹・国後の四島全てを取り戻すことが出来るよう強く望み続け、ロシアに訴えなくてはならないと思います。